

事務事業マネージメントシート

作成日 平成23年04月20日

事務事業名	農業委員会農政事業			担当	産業環境部 農業委員会事務局 農政係			
政策名	E	地域と産業が調和する活力あるまちづくり			電話番号	0285-83-8188		
施策名	1	農業の振興			<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業			
基本事業名					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 昭和29年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(年度～年度)		
法令根拠	農業委員会等に関する法律、農地法							
予算科目	1.一般会計	6.農林水産業費	1農業費	1農業委員会費				
事業概要	1.農政部会の運営業務 2.農林等施策並びに予算編成に関する建議要望の提出(毎年) 3.農作業標準賃金の策定(毎年) 4.実勢賃借料の情報提供(毎年) 5.農業委員会委員選挙人名簿の調整(毎年) 6.その他(農業青色申告会事務、農業者年金事業事務など) 7.22・23年度農家就業人口及び農家戸数は2010農林センサスの確定値を使用。							

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

①手段(主な活動) 22年度実績 ・農政部会の開催(建議要望の作成、農作業標準賃金等の策定) ・農業委員会委員選挙人名簿の調製 ・農業青色申告会事務	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)の推移						
	名称	単位	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)
23年度計画 ・22年度と同様	ア 農政部会の開催	回	2	2	2	2	2
	イ 選挙人名簿の調整	人	7,152	6,948	10,896	10,477	10,100
	ウ 市農業青色申告指導会の開催	回	19	19	30	25	20
	エ						
	オ						
②対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 ・農業経営者及びその家族	⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)の推移						
	名称	単位	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)
	ア 農家就業人口	人	4,155	4,155	6,887	6,089	6,089
	イ 農家戸数	戸	3,174	3,174	4,795	4,348	4,348
	ウ 市農業青色申告会会員数	名	353	343	473	466	459
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) ・農業経営の健全化	⑦成果指標(対象における意図された対象の程度)の推移						
	名称	単位	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)
	ア 農家1戸当たりの生産農業所得						
	イ						
	ウ						
④結果(どんな結果(上位施策)に結びつけるのか) ・農業生産力の発展と農業経営の合理化 ・農業の振興	⑧上位成果指標(結果の達成度を表す指標)の推移						
	名称	単位	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)
	ア 真岡市の1年間の農産物算出額						
	イ						
	ウ						
エ							
オ							
(2) 総事業費の推移		単位	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)
投入量 事業費 財源内訳 正規職員従事人 延べ業務時間 人件費 人件費計(A+B) トータルコスト(A)+(B)	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
	県支出金	千円	921	805	1,360	3,324	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	5,966	5,396	6,331	4,616	0
事業費計(A)		千円	6,887	6,201	7,691	7,940	0
人件費 正規職員従事人 延べ業務時間 人件費計(B)	人件費計(B)	千円	6,334	6,417	7,475	7,866	0
	トータルコスト(A)+(B)	千円	13,221	12,618	15,166	15,806	0
	(3) 事務事業の環境変化・市民意見等						
①この事務事業を開始したきっかけは何か? いつごろどんな経緯で開始されたのか?		昭和26年、農業生産力の発展及び農業経営の合理化を図り、農民の地位の向上に寄与するため、農業委員会法等に関する法律が施行され、昭和29年の市制施行により開始した。					
②事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?		農業従事者の減少、高齢化に伴う荒廃農地の増大や食料自給率の低下、農産物価格の下落により、農業を取り巻く情勢は厳しい状況にある。 農地を確保し、有効活用することにより、食料自給率を向上させることを目的に、平成21年12月に農地法等を改正する法律が施行され、農地の転用規制の厳格化、賃貸借に関する規制の見直しや、株式会社等の農業参入要件が緩和された。					
③この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?							

2. 1次評価の部 *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は、市の政策体系に結びつくか? ・意図することが結果（上位施策）に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直し余地がある ・農業生産力の発展及び農業経営の合理化を図り農業者の地位向上に寄与することが目的であるので、市の政策に結びつく。
	②公共関与の妥当性 ・なぜこの事務事業を市が行わなければならないのか? ・税金を投入して達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある ・農業委員会法等に関する法律、農地法等に基づく事業であり妥当である。
	③対象と意図の妥当性 ・対象を限定・追加すべきか? ・意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある ・農業委員会法等に関する法律、農地法等に基づいて実施しているので適切である。
有効性評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるか? ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか? ・何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある ・法に基づく事業であるため。
	⑤廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない ・法に基づく事業であるため廃止・休止はできない。
	⑥類似事業との統合や連携の可能性 ・他に、類似の形態の事務事業はないか?	<input type="checkbox"/> 類似事業がある（類似の事務事業名を記載） <input type="checkbox"/> 類似事業はない
	・類似事業がある場合、その事業と統合したり連携を図ることができるか?	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携ができる <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携できない
効率性評価	⑦事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある ・必要最小限の事業費であり、削減できない。
	⑧人件費（延べ業務時間）の削減余地 ・やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? ・成果を下げずにより正社員以外の職員や委託でできないか (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある ・必要最小限の人件費である。
公平性評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか? ・受益者負担が公正・公平になっているか?	<input type="checkbox"/> 公正・公平である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある ・受益者負担はない。

3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性（改革案・実行計画）	<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し (<input type="checkbox"/> :目的妥当性 <input type="checkbox"/> :有効性 <input type="checkbox"/> :効率性 <input type="checkbox"/> :公平性) <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 繼続	(3) 改革・改善による期待成果
(2) 改革、改善を実現する上で克服すべき課題は何か？それをどう克服していくか？		

4. 事務事業の2次評価結果（事業の総括と事業の方向性）

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合	<input type="checkbox"/> 記述説明不足（説明責任不充分） <input type="checkbox"/> 評価内容が客観性を欠く <input type="checkbox"/> 評価内容は客観的と言える	(5) 改革・改善による期待成果
(2) 2次評価者としての評価結果	①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
(3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性	<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）	
(4) その他2次評価会議で指摘された事項		